

東日本大震災聴覚障害者救援中央本部

救援ニュース 第4号 (2011. 5. 27 発行)

【発行責任者】東日本大震災聴覚障害者救援中央本部 事務副総括 中村慎策

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 130 SKビル 8階 財団法人全日本聾啞連盟内

TEL:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445 <http://www.jfd.or.jp/tohoku-eq2011/>

東日本大震災聴覚障害者救援中央本部第2回会議を開催

前号でも書きましたが、5月12日(木)18時30分～21時、東京都港区立障害保健福祉センターヒューマンぷらざにおいて、救援中央本部第2回会議



挨拶する石野本部長

が開かれ、3県の救援本部の方も出席しました。各県の状況報告、各担当の報告の後、今後の活動などについて話し合いが行われました。

支援岩手本部長の高橋さんは、所用により、出席できませんでしたが、代わりに、DVDによるメッセージを送っていただきました。

この会議で、現在集めている、被災した聴覚障害者及び手話関係者に対する義援金の配分を協議するために、義援金配分委員会を設置することが承認されました。委員会の委員は、下記のメンバーで委員会を構成することとし、人選を救援中央本部本部長・副本部長で協議し、第1回委員会を6月中に開催する方向で調整中です。

1. 救援中央本部構成3団体

(全日本ろうあ連盟・全国手話通訳問題研究会・日本手話通訳士協会)

2. 被災3県(岩手、宮城、福島)現地救援本部

3. 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

4. 政府及び被災地行政

5. その他有識者



岩手本部
(千葉副本部長)



福島県本部
(左から小林事務局員、
清水副本部長)



宮城本部(左から小泉本部長、
宮澤副本部長、平間事務局員)



会議風景



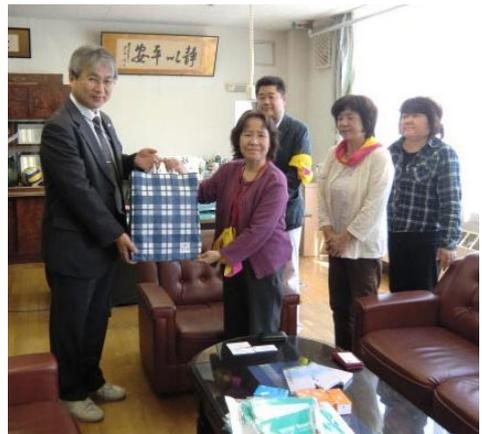
高橋岩手本部長のDVDメッセージ



☆ 東北3県の状況は？

支援岩手本部

- ・5/15（日）、岩手県ろうあ協会通常総会を開催。被災されたろうあ者が6名出席し、総会が終わったあと、被災された体験を報告。
- ・指定福祉避難所やどのように情報等を受け取るかもう一度各地区で協議の上、各市町村福祉課へ要望交渉をすることを確認。
- ・5/19（木）岩手県立一関清明支援学校を訪問し、校長に、補聴器用電池や文具(日本テトラパック(株)様からの支援物資ノート・カラーサインペン等)を贈呈。(右写真)



・その後、盛岡聴覚支援学校へ2回目の訪問をし、補聴器用電池や日本テトラパック(株)様より頂いた文具を贈呈。(左写真)

「全国からの励ましの心を被災地へ一緒に届けてくださったバンダナを身に着けて、支援活動に頑張っています。全国の皆さんから、切れ間ない支援していただいて、疲れてしまうのではないかとかえって心配です。どうぞ体を大



切にください。」(高橋本部長より)

救援宮城本部

- ・5/23 現在安否確認状況は次の通り。うち避難所にいる聴覚障害者は、県内 14ヶ所に 17人。

内訳		総数	無事	死亡	未確認
聴覚障害者	ろう協会員*	363	358	5	0
	会員外	387	378	9	0
健聴者	賛助会員	65	65	0	0
	宮通研	154	154	0	0
	登録通訳者	10	10	0	0
合計		979	965	14	0

*ろう協会員は、2008年度・2009年度・2010年度の会員

- ・支援物資班で、寝具セット、台所セット、コタツ機能付き座卓など被災者が必要としている生活必需品の手配、配布

*物資支援いただける方は、購入前に下記へご連絡願います。

【救援物資受付専用】 help.shinsai@gmail.com

- ・復興・グッズ班で、「復興Tシャツ」を作成(1枚:2,000円、支援金500円込)



- ・注文受付中 <http://deafmiyagi2011.blog.shinobi.jp/> (PC、携帯両方可)
- ・復興Tシャツ支援金の主な用途は被災者に配布する生活必需品の購入等。
- ・物資申請への対応・棚卸しのボランティア活動を実施。この他に、お話ボランティア活動の実施を計画中。
- ・5/27～6/7：第2回アセスメント実施決定。地域、対象者の確認、連絡。

救援福島県本部

- ・5/19 現在の避難状況は次の通り。
 - A) 県内避難聴覚障害者 ⇒ 6人 (非会員)
 - B) 県内避難関係聴者 (協会ニュース読者) ⇒ 1人
 - C) 県外避難聴覚障害者 ⇒ 新潟2人 (会員)
 - D) 県外避難関係聴者 (協会ニュース読者) ⇒ 長野1人 / 北海道1人
 - E) 県外避難 (親戚宅) 聴覚障害者 ⇒ 沖縄2人 (夫婦)、千葉1人 (いずれも会員)
- ・相馬市、南相馬市、新地町、いわき市及び県外避難先2ヶ所を訪問し、被災聴覚障害者や通訳関係者3人に情報紙と物資 (主に下着) を渡し、現在の様子等を聞く。手話が一気に噴き出し、手話で話すこと、知っている者の顔を見ることの嬉しさ、大切さを実感！
- ・5/17、県に対し、いわき市へ2人・2週間の県外手話通訳者の派遣を要請。



☆「民放連にニュースへの手話、字幕の付与を強く要望」

震災後に行われた各党の障害者団体へのヒアリングにおいて、連盟はテレビでの震災報道についての要望を出しましたが、これに関心を持った丸川珠代参議院議員の仲介により、5月11日に石野本部長と久松事務総括と、広瀬民放連 (社団法人民間放送連盟) 会長らの会談が行われました。

会談の席上で、石野本部長と久松事務総括は、資料や外国のテレビの写真を見せながら、聴覚障害者の情報保障のために、テレビニュースに手話、字幕を付与することを強く要望しました。



主な要望内容は次の通り。

1. 現在のテレビのニュースには手話、字幕が付いているものが少なく、聴覚障害者は情報を得ることが難しい。今回の大震災においても、聴覚障害者はなかなか情報を得ることができない状況に置かれていた。
 - 全てのニュースには必ず手話、字幕をつけて、聴覚障害者も情報を得ることができるようにして欲しい。
2. また、今回初めて首相官邸での記者会見に手話通訳がついたにもかかわらず、手話通訳の位置が離れているため、ニュース報道では手話通訳が削除されてしまう。
 - ニュージーランドの地震のときには、最初から報道官の隣に手話通訳がついていたので、ニュース報道の時は必ず手話通訳も一緒に映し出されていた。
 - 日本でも同じように、最初から発言者の隣で手話通訳を行うことができるようにして欲しい。

3. 韓国、エジプト、シリアでもニュースには手話通訳が付いていた。

日本は遅れているので早く全てのニュースに手話通訳、字幕をつけて放送するようにしてほしい。

これに対し、広瀬会長は次のように述べました。

「まだ通訳を付ける準備はできていないと思うが、生放送のニュースにはつけられないとあきらめずに、たとえば全部一度につけられなくても、時間を決めて、夕方のニュースには必ずつけるとか、工夫して対応していきたい。今回の震災ではメディアとしても反省すべき点が多く、政府や自治体もメディアの反省点をまとめつつある。

連盟として、被災者の声、情報から取り残された例、外国の例を入れて報告書にして我々に出していただければありがたい。」

☆情報

東日本大震災チャリティー公演

「モスクワ・パントマイム劇場：チャーリーはどこだ？」

開催のお知らせ

このたび6月10～20日、ロシアのろう者劇団モスクワ・パントマイム劇場が来日します。当劇場は、ロシアで約40年の歴史を誇る、ろう者によるプロの劇団であり、独自のユニークな表現方法で国内外の多くの観客を魅了してきました。また、これまでに上演したロシア及び世界各地の古典作品などの中から、定番でもある「チャーリーはどこだ？」を多くの方々に観ていただきたく、下記の通りご案内いたします。

東日本大震災における被災地や、被害に遭われた方々のお力になりたいという思いから、チケット売上の一部を東日本大震災で被災に遭われた方々や支援活動をしている方々への支援金として寄付させていただきます。皆さまのご来場をお待ちしております。

1. 公演日程・都市：6月13日／広島・14日／京都・16日／愛知・18日／神奈川
2. 主催：財団法人全日本ろうあ連盟
3. チケット代：2,000円（全席自由）
4. お問い合わせ：全日本聾唖連盟本部事務所（担当：瀬川）

TEL：03-3268-8847 FAX：03-3267-3445

☆お詫びと訂正

救援ニュース第3号の「手話通訳活動報告」の中に、手話通訳者を派遣した都道府県名が書いてありましたが、青森県が抜けていました。お詫びするとともに訂正します。

☆☆☆ 義援金のお願い ☆☆☆

被災地の聴覚障害者ら仲間の支援のために皆様のご協力をお願いします。

- ① 銀行：みずほ銀行 江戸川橋支店 普通預金 口座番号：1511276
名義：(財)全日本聾唖連盟 災害救援基金 代表 石野富志三郎
(サインホウジンゼンニホウアルメイ サガキキョウキキョウカクホウ イノダツサヲウ)
※みずほ銀行内（本・支店間）での振込の場合、振込手数料は免除されます。
- ② 郵便振替：記号 00160-9-166840 名義：(財)全日本聾唖連盟
※通信欄に「東日本大震災の災害義援金」とご記入ください。

義援金総額 21,895,150円 (587件、2011年5月23日現在)



イラスト協力：芦原利江